



華となれ!

宮城県仙台二華中学校

学校だより 第4号

【発行日】 令和3年6月11日

【連絡先】 022-296-8101

【文責】 副校長 大泉 真澄

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」=社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

第11期 生徒会スローガン「自由一揆」



5月19日（水）に、タブレット端末を活用したオンライン会議形式で、生徒総会を開催しました。委員会や部活動の活動計画などについて、活発な協議が行われました。

また、生徒会テーマ「自由一揆」は、11期（じゅういっき）にかけて、「自由」には、コロナで奪われた自由を取り戻すために、自由な心で、みんなで力を合わせて行動を起こそうという願いを、「一揆」には、二華中全員の力を結集し、ひとつのことに向かって取り組んでいこうという強い願いを込めているそうです。

2 学年北上川フィールドワーク

環境保全活動を実体験

今回の目的は干潟の観察やヨシ原の再生です。この活動への参加は、今年で7回目となります。北上川河口付近一帯に広がっていたヨシ原は、人々の生活だけでなく、野鳥やヤマトシジミ、チゴガニ等の豊かな生態系を支えていました。しかし、200 haあったヨシ原は、東日本大震災による地盤沈下で100 haにまで減少してしまったそうです。当日は、東北工業大学工学部の山田一裕教授を講師に迎え、ヨシ原の再生を促すために、移植活動を体験してきました。今回移植したヨシ原が、しっかりと地面に根を伸ばしていくことを願い、泥だらけになりながら真剣な表情で活動していました。



ヨシについての講話

ヨシの移植を終えてから、北上川河口付近にある、川のビジターセンターで昼食をとった後に、国宝重要文化財保存修理や茅葺き工事を手がけている熊谷産業を訪問させていただきました。

そこで、熊谷産業代表取締役の熊谷様から、ヨシ原が生態系に及ぼす役割や、ヨシ原を移植する目的について講話をいただきました。



↑講話を聞き、質問している生徒

ヨシ原の再生が、生態系にどんな好影響を及ぼすか、最後まで興味深く聴くことができました。

先生方は授業研究に取り組んでいます。

本校では、問題解決型の学習課題や深い思考を促す発問を設定した授業実践をテーマに、授業研究を進めています。6月4日（金）には、宮城県教育庁の指導主事に訪問いただき、研修を実施しました。

当日は、1年B組で保健体育科の千葉純子教諭が陸上の授業を、2年C組で担任の遠藤園子教諭が本当の友情を題材にした道徳科の授業を、3年C組で社会科の佐藤克俊教諭が現代の日本と世界の授業を行いました。今後も、生徒たちに充実した学びに結び付けていけるよう日々取り組んで参ります。



↑遠藤教諭の道徳の授業

いざ戦わん！ニ華中生！フルスイングでいこう！

□■3年生にとっては、2年2ヶ月の総決算となる仙台市中学校総合体育大会が、6月12日（土）から14日（月）までの3日間に渡って、各会場で開催されます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら、競技によっては、登録選手のみでの大会参加や無観客での開催となります。

各部活動顧問から示される参加計画に従って、3日間の動向を確認してほしいと思います。各部とも悔いの残らない全力プレーで戦ってほしいと思います。保護者の皆様のサポートをどうぞよろしくお願いいたします。

